

## 教科目名 哲学特論 I (Special Lecture on Philosophy I)

専攻名・学年：全専攻 2 年 (教育プログラム 第 4 学年 ◎科目)

単位数など：必修 2 単位 (前期 1 コマ, 学習保証時間 22.5 時間)

担当教員：堀 栄造

## 授業の概要

現代哲学の主潮流の一つを成すドイツの哲学者エドムント・フッサーの創始した現象学の学問的方法論である現象学的還元が、どのように着想され、どのような構造をもち、どのような意義をもつかを学ぶ。授業全般を通じて、質疑応答などを通して相互に発言し合う機会を多く設け、活発な議論の展開となるように努める。

## 達成目標と評価方法

## 大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)

- (1) 学問的方法論は学問にとって生命線とも言うべきものである。フッサーの現象学の学問的方法論の形成を学ぶことによって、学問にとっての方法論の意義や重要性を理解する。(定期試験)
- (2) 哲学的文章を通して西洋的思考および西洋的文化に直接接し、地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける。(定期試験)

| 回  | 授業項目                     | 内容                       | 理解度の自己点検  |
|----|--------------------------|--------------------------|-----------|
| 1  | 心理学主義的立場                 | ○心理学主義的立場について理解できる。      | 【理解の度合い】  |
| 2  | 反心理学主義的心理学               | ○現象学的イデア学について理解できる。      |           |
| 3  | 反心理学主義的イデア学              | ○還元思想の萌芽の生成について理解できる。    |           |
| 4  | 現象学的イデア学                 | ○実在的次元からの脱却の萌芽について理解できる。 |           |
| 5  | 還元思想の萌芽の生成               | ○現象学的反省の可能性について理解できる。    |           |
| 6  | 実在的次元からの脱却の萌芽            |                          |           |
| 7  | 現象学的反省の可能性               |                          |           |
| 8  | 前期中間試験                   |                          | 【試験の点数】 点 |
| 9  | 前期中間試験の解答と解説<br>空想における反省 | ○現象学的還元の着想について理解できる。     | 【理解の度合い】  |
| 10 | 現象学的還元の着想                | ○現象学的統覚について理解できる。        |           |
| 11 | 現象学的統覚                   | ○現象学的エポケーの着想について理解できる。   |           |
| 12 | 現象学的エポケーの着想              | ○反省領域全体の非顕在化について理解できる。   |           |
| 13 | 反省領域全体の非顕在化              |                          |           |
| 14 | 志向的構成と存在的現象              |                          |           |
| 15 | 前期期末試験<br>前期期末試験の解答と解説   |                          | 【試験の点数】 点 |
|    |                          |                          |           |
|    |                          |                          |           |
|    |                          |                          |           |
|    |                          |                          |           |
|    |                          |                          |           |
|    |                          |                          |           |

|        |                                  |          |
|--------|----------------------------------|----------|
| 履修上の注意 | ノートをしっかりと取り、積極的に発言すること。          | 【総合達成度】  |
| 教科書    | 堀栄造著,『フッサーの脱現実化的現実化』,晃洋書房,2006年. |          |
| 参考図書   | 堀栄造著,『フッサーの現象学的還元』,晃洋書房,2003年.   |          |
| 事前準備学習 | 事前に教科書を読んでおくこと。                  |          |
| 関連科目   | 哲学特論II, 哲学概説, 倫理.                |          |
| 総合評価   | 2回の定期試験により評価する。評価が60点以上を合格とする。   | 【総合評価】 点 |